

お米から伝わる祖父の思い

新潟県佐渡市真野小学校

六年

伊藤

有海

みなさんはどんなお米を使った料理が好きですか。お米を使った料理といえば、チャーハン、カレー、たきこみご飯などたくさんあります。私がまっ先に思い浮かぶのはまっ白なご飯です。私の家のお米は祖父が中心となり、頑張って作っています。祖父の家は山あいの地域にあり、草刈りが大変だと聞いた事があります。そこで私は、夏休みに祖父の草

刈りの手伝いをしようと考え、祖父の家へ向かいました。

祖父の家に着いたら、汚れてもいい格好に着がえ、祖父から草刈りのやり方や注意する事を教わりました。かまで稲の近くの草を刈ったり、手おしの草刈機を使ったりしました。かまで草を刈るとスピードがものすごくおそく、刈る量もとても少ないので、（どうしよう。これだと、刈り終わる前に日が暮れてしまっ

て刈れない）と困っているとき、それを見

かねた祖父が、
「そのやり方だと速く刈れない。かまを使う
時はかまをななめにして地面をけずるように
刈るんだよ。少し見ててな。」
とお手本を見せてくれました。慣れた手つき
であっという間に草を刈っていききました。私
もやってみたけれど、草が刈れずに土に刃が
ささってしまい、上手くできませんでした。
そこで今度は、草刈機を使ってみるとそうさ
が難しく、機械が重くてケーブルがなかなか上
手くできなかつたけれど、刈り進めていくう
ちに少しずつできるようになってきました。上手
く刈れた時は、とてもうれしかったです。実
際に作業をやってみると草刈りの仕事は、草
の量がたくさんあり、思っていた以上に暑い
のでとても大変でした。祖父に
「こんなにも暑くて手間がかかっ
て大変なのになぜお米作りを
続けているの？」
と聞きました。祖父は
「この辺りはしゃ面が
いっぱい草がたくさ

ん生えるから、草刈りに手間がかかって大変だ。でも先祖から続く田んぼを守りたいし、ここで作ったお米を待っている親せきのため、に頑張っ、て続けているよ。」
と話してくれました。祖父がお米作りにかかる思いは強いんだなと感じました。

作業が終わり休んでいると、祖母がおにぎりを用意してくれたのでみんなで食べました。一口目から甘みが広がり、とてもおいしくて体の底から力がわきました。今回の草刈りのお手伝いで色々な事を学び、祖父達の米作りに対する思いが伝わったような気がしました。

今、この地域の稲たちが日々大きく成長しています。秋には立派なお米を実らせて、たくさんの人達に食べてほしいです。
お米は農家さんが汗水垂らして作った努力の結し、ようです。これからはお米一つぶ一つぶに感謝して食べたいです。

今日もおいしいご飯のおいがしてきます。いただきます。